

イエスは 主なり



日本クリスチャン・アシュラム連盟

# 日本アシュラム

アシュラムとはスタンレー・ジョーンズ師がインドの退修方式を取り入れて創始されたキリスト教の新しい祈祷運動である。

開心・静聴・充滿・献身・奉仕 124

『僕は聴きます。

主よ、お話してください』

サムエル記上3章9節

木部 安来



文語体訳のテサロニケ前書4章11節は「…努めて安静にし、…」静まること、これが最も深い霊的な必要です。それによって神を知り、霊的な力を賜り、人生の戦いに立ち向えます。新幹線のような速度で食事（祈祷）をして力を待ち望むことは無理です。わたしたちは「新しく力を受けて鷲のように翼を張って飛ぶ」ことができるのです（イザヤ40：31）。

静まることの最大の効果は、何よりも神に機会を与えることです。神の憩いに入れられた者は、自分自身の働きを止めたのです。ちょうど神ご自身の働きを終わって休まれたように、わたしたちが自分で考えることを中止する時、神のみ思いがわたしたちに入って来ます。わたしたちが自分の落ち着いた働きを止めて静聴の時に、神がわたしたちのうちに働きかけて、神のみ心にそって願いを起こさせ、かつ実現にいたらせられる」のです。わたしたちの為すことは、「静まってわたしが神であることを知れ」（詩46：10）です。

わたしたちは忠実に実践しても最善のこと、「静まり、祈祷」を怠りがちです。主なるイエス・キリストに開心、静聴することに力を尽くして努めることは神が与える大いなる祝福の源です。

「われらの神はわれらを祝福された」「父よ御名が崇められますように」。

わたしたちが神から戴いている恵みをあまり用いようとしないことは、それだけで十分おかしいことですが、最もおかしいことは、わたしたちが神ご自身を用いようとしないことです。『我らの神』であるのに、あまり、主のみ前に出て助言を求めることが少なく、導きを求めないままに出で行く。困難に出会っても、自分で背負って苦闘することが多い。

「求めなさい」。「栄光の富の中からいっさいの必要をキリストは満たして下さる」と聖書は告げる。

わたしたちが神の富を自由に用いないなら、過ちです。神が招いておられるのですから、毎日なにかを戴くべきです。助ける神を持っているから、恐れず、気落ちせず、宝庫からもってくるべきです。そこにはわたしたちの必要としているすべてのものがあります。祈りの中で神を用いるのです。何故なら、彼はわたしたちの神であるのです。どうして与えられた特権を使わないのですか。神はわたしたちが静まって祈るようになることを願っておられます。わたしたちが祈ることを確信しておられる。何故なら、主は何千年ものあいだ世々の聖徒の一切の必要を満たし続けておられた方ですから。わたしたちが何者でも、どこに居ても、わたしたちの全とされるために、神ご自身を用意しておられます。イエスはわたしたちが御父とひとつになることを祈られました（ヨハネ17：21）。主のご目的は、わたしたちが祈りによって、神の思いを知ることです。神はある目的のために、悲しみ、苦しみがわたしたちに臨むのを許しておられる全能の主です。

クリスチャン・アシュラム連盟の海老沢宣道前理事長は「牧師の半分は祈らない」と助言される。自ら悔い多く、主よ「祈りに導いてください」と祈るものです。（ホーリネス元住吉キリスト教会牧師）



スタンレー・アシュラムの継承者  
 祈りの聖徒  
 海老沢宣道先生を偲ぶ

東京新生教会牧師 横山義孝

6月14日(水)午後帰宅しますと、海老沢先生ご召天の訃報が届いており、深い哀悼を覚えました。同時にご葬儀に関して、諾否の回答をご遺族が待っておられる由でした。

大石嗣郎連盟理事長が式辞、小生が聖書朗読のご用を仰せつけられたのです。しかもそれは、海老沢宣道先生の遺されたメモに指名してあったの事。ご入院中の事を伺っていたのですが、再起のあることを期待していましたが、御見舞にも伺っていませんでした。深い罪責を覚えました。先生は小さな者を最後まで心にかけて祈って下さっていたのだと厳肅な思いの中で当日の葬儀に伺った次第です。

私が海老沢先生とのお交わりを頂くようになったのは、一九六〇年、東山荘に於て開催されたスタンレーアシュラムに参加を許されたことに始まります。かけ出しの伝道者が開拓伝道十年目で行き詰まり、聖霊による更新以外に脱出の道のないことを主がご存知で、深い摂理の内に導かれた小生の参加でした。「主よあなたのみ旨の真実を聞かせて下さい」

との開心の言葉は、私の魂の深みからの渴望でした。主はこのニードを憐れんで下さいました。同年三月十三日(日)全く予期しない聖霊のバプテスマに与かり、魂の根底から霊的更新の恵みに与かったのです。私の今日迄の凡ては、この恩寵経験が原点となっています。また同時に、アシュラムを通しての海老沢先生をはじめ、敬愛する諸師、諸兄弟との交わりの中に伝道者の歩みを進めて来られたことも、この恵みによることを覚え感謝のほかありません。

海老沢先生もまた、その翌年、即ち61年NCC・アシュラム祈禱生活委員、75年からは日本クリスチャンアシュラム連盟理事長として、まことに情熱を傾けたご用を全うされたことに心から敬意の念を深くするものです。先生は、優れて国際的な感覚を身につけておられインド、アメリカを中心とする国際アシュラムの働きのかげ橋の役を精力的に荷い続け、スタンレーが日本のクリスチャンの信仰の成長のため、又日本同胞への伝道のビジョン達成のためにと残し「」かれたアシュラム運動の精

神を正しく継承して、更にこれを日本的なものへと熟成させながら、現代の教会に深く根をおろした信仰復興運動に育て上げた功績は誠に大きいと言わねばなりません。静かなたがずまいの中に、温好そのものの人柄をもって、祈りの指導をする姿は、誠に印象的で深く魂に刻まれております。アシュラムそれ自身が東洋人の瞑想的心情に合致した修養方式になっているのですが、先生独特の呼吸法を取入れた祈りのスタイルにユニークさを感じていました。

先生はまた、その祈りの人としての信仰の焰を文書伝道にそそいでおられたことを思います。毎季毎の「祈りの友」誌を先生からダイレクトで届けられていた方が少くないでしょう。小生もその一人です。更に特筆したいことは、世界的聖書日課としての「アパルーム」の日本語版の編集発行です。97年米国本部より長期日本語奉仕者として表彰を受けられたことはその業績の大きさを物語っています。

ご葬儀の当日6月17日(土)小生がプログラムに於て朗読させて頂いたのは、ロマ10の5、13でした。ところがこの日、早天でのアパルーム日課のテキストが全く同じ箇所であったのです。これは決して偶然ではないと思えました。しかもその時大石嗣郎理事長は、故人「宣道(のり

みち)」師の誕生時に於ける命名の由来がこのテキストにあると伺いました。「これはわたしたちが宣べ伝えている信仰の言葉(道)なのです」と。約一ヶ月前ご主人への看病の内にあった須磨ご夫人が先に召され残された先生のご胸衷が如何ばかりであったことかと察する次第です。御遺族と江古田教会の上に天父の御慰めを切願申し上げます。「彼は死んだが、信仰によって今もなお語っている」(ヘブル11・4)。

アシュラム生活最良の友  
**アパ・ルーム**  
 海老沢 宣道 編集  
 (年6回刊行の日々の糧)  
 国際的、超教派的、霊的な読物  
 価300円、〒90円、年2,340円(〒共)  
 3ヶ年分個人予約注文は 5,400円 (〒除く)  
 申込先 ☎256-0812 小田原市国府津3-11  
 振替口座 00110-7-193834 アパ・ルーム  
 電話番号 0465-48-2010  
 日本語版は創刊以来49年続行中

▼インド途上のキリスト  
 一九八六年一〇月改定版  
 E.S.ジョーンズ著新訳者 瀧江淳一  
 価一、九〇〇円 千三六〇円

東京都目黒区中央町1-21-10  
 日本クリスチャン・アシュラム連盟  
 碑文谷教会受付  
 振替口座

新約聖書 霊 想

### 『ペトロの復活体験』

函館栄光教会牧師 白川鄭二

主の復活を見たことは、使徒職の重要な資格であった(1コリント15・3〜10、同9・1)。しかし、福音書では、ペトロ自身は「私は復活の主を見た」とは一度も言っていない。なぜ彼は女たちの復活証言を受入れなかったのか(ルカ24・8〜1136〜37)。ペトロは大祭司たちがイエスを謀殺しようと裁判をしている危機的場面で、「私はイエスと関係がない」と固く誓った。だからイエスが十字架に釘付けられて死んだのを見て、「自分はイエスを殺した」と強く感じたであろう。だから、ペトロはある意味でイエスに再会することを恐れ、その機会を避けたのである。彼のキリストを裏切った罪の自覚が余りに強かったのである。魂が死んだような状態になって無感動であったペトロを元の師弟の關係に呼び戻したのはイエスのペトロに対する特別な愛であった。それはペトロの裏切りに先行し(ルカ22・31〜34)、御自分との交わりへと呼び戻した(マルコ16・7)イエスの贖罪愛であった。

再 び経験したペトロはエルサレムで五旬節の日に大演説をし、「あなたが十字架につけて殺したイエスを神は主とし、またメシアとされた」と言った(言行録2・41)。その「あなたがたは」、実は「私」ペトロこそ、イエスを十字架に付けた張本人である」と言う告白に裏付けられていたのである。そうでなければ、彼の説教を聞いて三千人の大衆が心から悔い改めて洗礼を受けるという奇蹟的反応は生じなかったであろう。ペトロの復活体験は直ちに主キリストの死と復活の福音の宣教と結びついたのである(ヨハネ21章)。

#### 【いし安未内】

▼第38回関東アシュラム

- ・日時 9月13日(土)〜15日(日)
- ・会場 山崎製パン箱根山荘
- ・主題 『イエスは主である』
- ・使徒言行録3章6節
- ・助言者 連盟理事長 大石嗣郎師
- ・費用 他 各委員
- ・登録費 3,000 円
- ・参加費 15,000 円
- ・締切 9月10日
- ・申込・問合わせ先

〒181-0011

東京都三鷹市井口3-15-6

池の上キリスト教会内

TEL0422-33-0018

#### 第10回

国際クリスチャン・アシュラムへの招き

二〇〇〇年は日本にアシュラム運動創設四十五周年、インドでは創立七十周年(S・ジョンズ博士サツタル・アシュラム開始)を覚えて記念祝典が計画されています。

これに合わせて第10回「国際クリスチャン・アシュラム」をサツタルにて開催する準備が進められています。日本クリスチャン・アシュラム連盟も参加するため、以下のように計画されています。

- ・日程 11月16日(木) 成田発  
11月25日(土) 成田着
- ・サツタルは11月18日〜21日ですの前夜、観光が加わります。
- ・費用 三〇万円
- ・申し込みとお問い合わせは、  
東京都目黒区中央町1-21-10  
碑文谷教会気付
- ・TEL03-3712-5758
- ・日本クリスチャン・アシュラム連盟  
理事長 大石嗣郎 宛

海老沢宣道先生もこの計画を心にかけておられました。記念すべき機会でもありますので各地区におかれましては、参加者が起こされますように希望しております。

#### 【いし安未内】

▼第35回九州アシュラム

- ・日時 9月22日(土)〜23日(日)
- ・会場 厚生年金スポーツセンター
- ・助言者 日本基督教団香櫨園教会  
古河 治 師
- ・申込先 〒802-0972  
北九州市小倉区守恒4-2-13  
小倉中央教会 岡山教彦

TEL093-961-960 (教会)  
TEL093-963-5138 (牧師館)



理事長 大石嗣郎  
編纂人 有馬歳弘  
定価 一部60円 千80円

# はねるやきん

④ 谷 牧 子



【いし安未内】  
 ▼第34回関西アシュラム  
 ・主題 「キリストへの明け渡し」  
 ・日時 10月8日(日)後3時30分  
 ～9日(月)午後2時30分  
 ・定員 五〇名  
 ・費用 一万円(一泊二食、申込金  
 三千円を含みます)  
 ・申込・問合せ先  
 〒520-0036  
 京都市山科区御陵田山町三五  
 京都復興教会内  
 関西アシュラム事務局  
 ☎075-591-7291  
 FAX 075-581-9299  
 ・締切 9月30日(土)  
 ・会場 国際交流セミナーハウス  
 ※「関西アシュラムご案内」を必要  
 とされる方は事務局に申し込んで  
 下さい。申込は申込金三千円を添  
 えてお願いします。



▼第19回横浜岡村教会アシュラム  
 ・日時 7月15日(土)～16日(日)  
 ・申込・問合せ先  
 〒225-0021  
 横浜市磯子区岡村3-20-3  
 横浜岡村教会  
 ☎045-751-3917

【編集後記】  
 暑中お見舞い申し上げます。  
 ◆海老沢宣道先生がご逝去。アシュラム運動についての生き字引のような存在でした。ご遺族の上に主のお慰めを祈ります。◆8月発行の順番ですが、各地区のアシュラム開催に合わせて発行を早く致しました。◆写真は早くから頂いていたものもありますが、期限や紙面の都合から未掲載でした。案内に合わせて用いました。◆夏の計画に多様な時ですが静聴のゆとりを心掛けたいものです

スタンレー・ジョーンズ博士の遺言的大著  
**『震われない御国と 変わらない人格』**  
 キリスト教二大原理の霊的解明  
 澗江淳一・千代子共訳  
 宇宙と人生の究極目的を知りたい万人の書  
 ・B6版・並製・504頁  
 ・価2600円・送料310円  
 発行所・日本クリスチャン・アシュラム連盟  
 〒152-0001東京都目黒区中央町1-21-10